

Adobe® Application Manager Enterprise Edition リリース 3.1

Adobe® Application Manager Enterprise Edition リリース 3.1 をご利用いただき、ありがとうございます。

Adobe Application Manager Enterprise Edition (AAMEE) 3.1 を使用して、Adobe® Creative Suite® 6、Adobe® Technical Communication Suite 4.0、Adobe® eLearning Suite 6.0 のインストールパッケージおよびアップデートパッケージを作成できます。

- [各 AAMEE リリースでのサポートの概要](#)
- [このリリースの機能と変更点](#)
- [サポート対象の Suite 製品 — コンポーネントと必要システム構成](#)
- [既知の問題](#)

各 AAMEE リリースでのサポートの概要

次の表に、各 AAMEE リリースに含まれるサポートを示します。

リリース	CS6 のサポート	CS 5.5、CS5 およびその他のパッケージのサポート	アップデートのサポート
AAMEE 2.1	なし	あり。次の Suite 製品がサポートされます。詳しくは、AAMEE 2.1 展開ガイドを参照してください。 <ul style="list-style-type: none">• Adobe® Creative Suite® 5• Adobe® Creative Suite® 5.5• Adobe® Technical Communication Suite 3.5• Adobe® eLearning Suite 2.5 (限定サポート)• Adobe® Acrobat® X Suite (限定サポート)	あり
AAMEE 3.0	あり	なし	なし

AAMEE 3.1	あり	Adobe Technical Communication Suite 4.0 および Adobe eLearning Suite 6.0 をサポートします。	あり。ボリュームライセンスに適用されるアップデートがサポートされます。
-----------	----	---	-------------------------------------

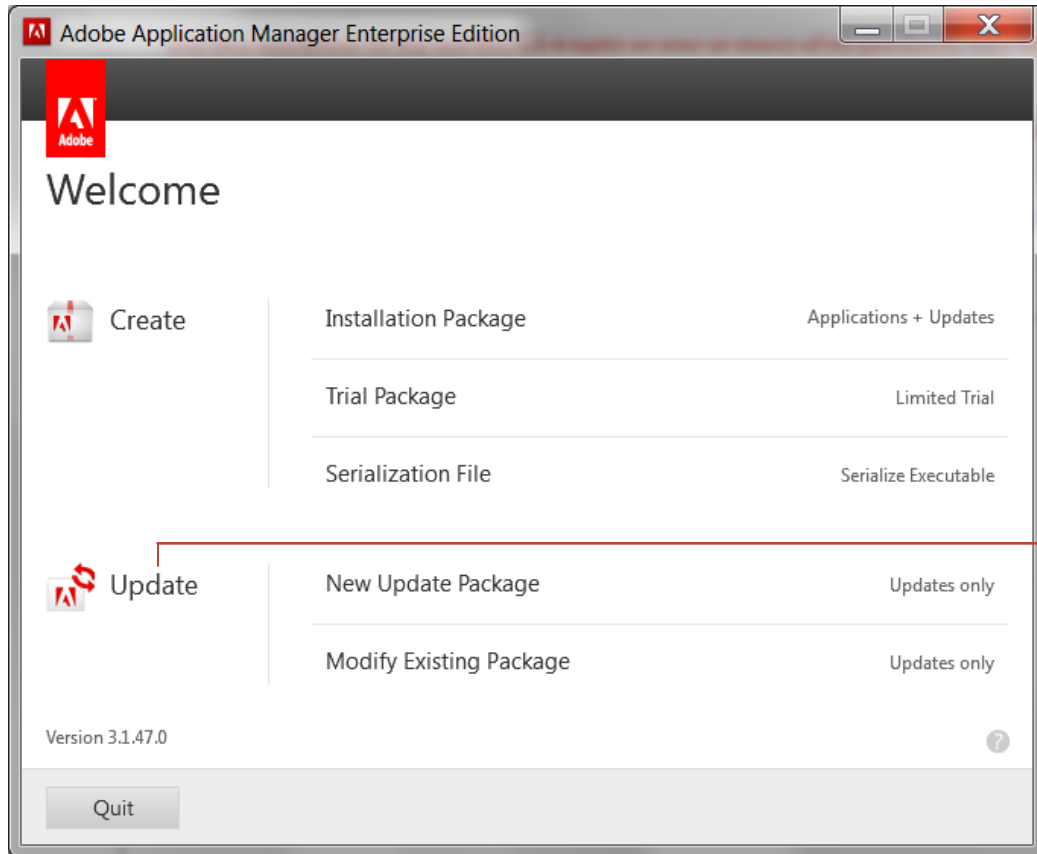
このリリースの新機能と変更点

- [アップデートパッケージの作成のサポート](#)
- [その他の Suite 製品のサポート](#)
- [Adobe Remote Update Manager による指定したアップデートの展開](#)
- [あるコンピューターから別のコンピューターへのインストールイメージのコピーによるパッケージの展開](#)
- [パッケージのアンインストール時の、ライセンス情報の削除とソフトウェアのライセンス認証の解除](#)
- [パッケージ名のダブルクリックによる Windows ベースのパッケージの展開](#)
- [Exceptions フォルダーに格納される Adobe Exceptions Deployer](#)

アップデートパッケージの作成のサポート

以前のバージョンの AAMEE (AAMEE 3.0) は、インストールパッケージの作成とシリアルライズのみをサポートしていましたが、本リリースではアップデートパッケージの作成もサポートされます。アップデートのみを含む新しいパッケージを作成するか、1 つ以上の製品の最新のアップデートをパッケージに含めるように既存のパッケージを変更することができます。

注意 : Mac OS では、Adobe® Digital Publishing Suite のアップデートはサポートされません。



新しいアップデートパッケージを作成するか、最新のアップデートを含めるように既存のパッケージを変更できます。

その他の Suite 製品のサポート

Adobe Creative Suite 6 のサポートに加えて、AAMEE 3.1 では、Adobe Technical Communication Suite 4.0 および Adobe eLearning Suite 6.0 もサポートします。

Adobe Remote Update Manager による指定したアップデートの展開

Adobe Remote Update Manager を使用して、すべてのアップデートを強制的に展開するのではなく、指定したアップデートのみをリモートで展開できるようになりました（1 つ以上のアップデートを指定できます）。

展開するアップデートを指定するには、新しいパラメーター `-channelIds=<channel_id_1,channel_id_2,...>` を使用します。この構文で、`channel_id1` は指定した製品の ID を表します。指定した製品と共にインストールすることが推奨されるその他の製品またはコンポーネントのアップデートも展開されます。

--channelIds パラメーターを指定しない場合は、インストールされている製品の利用可能なアップデートすべてが展開されます。

チャンネル ID と対応する製品またはコンポーネントの一覧については、以下のサイトの「Reference」セクションをご確認ください。

http://forums.adobe.com/community/download_install_setup/creative_suite_enterprise_deployment

例えば、次のコマンドは、channel_id_2 および channel_id_3 に対応する製品のアップデートのみをリモートで展開します。

```
RemoteUpdateManager --proxyUserName=<User Name>  
--proxyPassword=<Password>  
--channelIds=<channel_id_2,channel_id_3>
```

あるコンピューターから別のコンピューターへのインストールイメージのコピーによるパッケージの展開

あるコンピューターから別のコンピューターにインストールイメージをコピーすることで、パッケージを展開できるようになりました。この方法による展開時に、ライセンス情報が保持されます。

ソフトウェアのアンインストール時の、ライセンス情報の削除とソフトウェアのライセンス認証の解除

AAMEE パッケージを使用して作成されたソフトウェアをアンインストールすると、クライアントコンピューターからライセンス情報が削除されます。コンピューターがオンラインの場合、そのコンピューター上でソフトウェアのライセンス認証も解除されます。

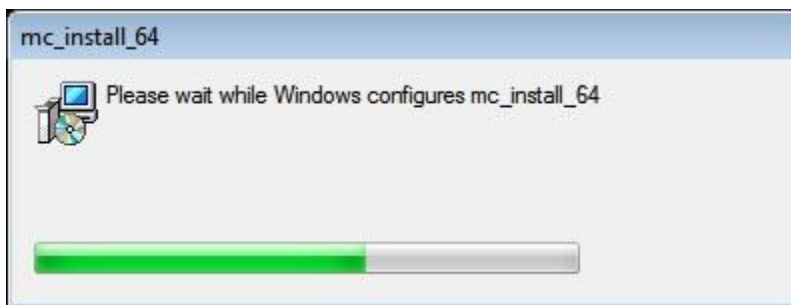
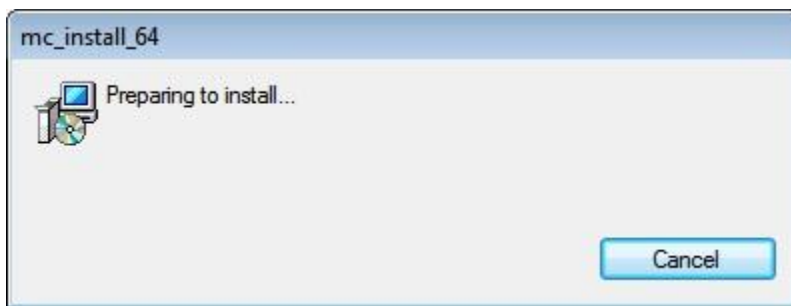
パッケージ名のダブルクリックによる Windows ベースのパッケージの展開

以前のリリースでは、Windows ベースのパッケージはサイレントインストール処理でのみインストールすることができました。このリリースでは、ユーザーはユーザーインターフェイスを使用してパッケージを展開することもできます。この機能は、次のいずれかの方法で有効にすることができます。

- MSI ファイルを右クリックし、「管理者として実行」を選択します。
- SCCM を使用してパッケージを展開する場合は、「環境」タブの実行モードで「管理者権限で実行する」を指定してプログラムを作成します。

注意：コマンドラインで /quiet パラメーターを使用していないことを確認してください

展開プロセスの一部として次の画面が表示されます。



Exceptions フォルダーに格納される Adobe Exceptions Deployer

パッケージを作成すると、Adobe Exceptions Deployer が Exceptions フォルダーにコピーされるので、フォルダーに個別にコピーする必要はありません。

Adobe Exceptions Deployer は、Adobe Remote Update Manager と共に utilities フォルダーにも格納されます。

サポート対象の Suite 製品 — コンポーネントと必要システム構成

Adobe Creative Suite 6

- Creative Suite 6 Master Collection のコンポーネント
<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/mastercollection.html>
- Creative Suite 6 Master Collection の必要システム構成
http://www.adobe.com/go/mastercollection_systemreqs_jp

Adobe Technical Communication Suite 4.0

- コンポーネント
<http://www.adobe.com/jp/products/technicalcommunicationsuite.html>
- 必要システム構成
<http://www.adobe.com/jp/products/technicalcommunicationsuite/tech-specs.html>

Adobe eLearning Suite 6.0

- コンポーネント
<http://www.adobe.com/jp/products/elearningsuite.html>
- 必要システム構成
<http://www.adobe.com/jp/products/elearningsuite/tech-specs.html>

既知の問題

このバージョンの Adobe Application Manager Enterprise Edition の使用時に、次の問題が発生することがわかっています。

問題： Adobe AIR ベースの例外ペイロードは、プロキシサーバーを実行するクライアントコンピューターに無人モードでインストールすることはできない。インストールを続行する前に応答する必要があるプロキシ認証のダイアログが表示される。この問題は、Adobe Exceptions Deployer を使用してこのようなペイロードを展開する際にも発生します。

回避策： プロキシサーバーを実行していないクライアントコンピューターにこれらの製品をインストールします。

問題：プロキシサーバーを実行するクライアントコンピューターで、Adobe® Dreamweaver®、Adobe® Fireworks®、Adobe® Illustrator® および Adobe InDesign® のいずれかの製品の起動時に、プロキシサーバーダイアログが表示される。

回避策：ありません。

問題：パッケージでアップデートを無効にしている場合でも、Adobe Help Manager 用に Adobe AIR アップデートの通知が表示される。

回避策：ありません。

問題：パッケージで EULA（エンドユーザー使用許諾契約書）の表示を無効にしている場合でも、Adobe AIR および Dreamweaver の起動時に AIR の EULA が表示される。

回避策：ありません。

問題：コンピューターに AIR が既にインストールされている場合、Adobe Help Manager が（別のドライブにも）インストールされない。

回避策：Adobe Help Manager をインストールする前に、コンピューターから既存の AIR をアンインストールします。

問題：（Windows のみ）パッケージを展開するコンピューターに 32 ビット版の Microsoft PowerPoint がインストールされていない場合、Adobe Presenter を含む Suite 製品のパッケージの展開が失敗する。64 ビット OS 上でも、32 ビット版の Microsoft PowerPoint が必要です。

回避策：これは、Adobe Presenter を含む Suite 製品の要件です。パッケージを展開するコンピューターに 32 ビット版の Microsoft PowerPoint がインストールされていることを確認してください。

問題：AAMEE が既に自動的にアップデートをチェックしていて、パッケージが作成されるコンピューターがオンラインである場合は、アップデートを手動で追加できない。これは、手動で追加されるアップデートのバージョンが AAMEE 画面に表示されるバージョンより新しい場合でも同様です。

回避策：ありません。この動作は意図的なものであり、有効なアップデートのみがパッケージに含まれるようにすることを目的としています。例えば、まれに、より新しいバージョンのアップデートが無効になり、その結果、有効なアップデートと見なされなくなる場合があります。

問題： Adobe Flash Builder および Adobe Acrobat で、Adobe ID がワークフローで無効になっている場合でも、登録を完了することで特典の申し込みに関する通知が画面の右上隅に表示される。

回避策： ありません。

問題： 1 つ以上の単体製品を使用してパッケージを作成し、その製品を含む Suite 製品を使用して別のパッケージを作成する場合、以降のアンインストールは、まず、単体製品を使用して作成されたパッケージ、次に Suite 製品を使用して作成されたパッケージという順序で行う必要がある。これ以外の順序では、ライセンス情報と Suite 製品の ARP エントリが、アンインストール時にシステムから削除されない。

回避策： 正しい順序でアンインストールしてください。

問題： (Mac OS のみ) Adobe Application Manager Enterprise Edition でパッケージを作成するときに、パッケージを設定画面で「パッケージ内で無効にする AIR コンポーネント」オプションを選択した場合、Adobe Community Help や Adobe Media Player などの AIR ベースのコンポーネントがパッケージに含まれない。これは、SSH ベースのインストールの実行時や、プロキシ資格情報の手動入力を回避する場合など、特定のケースで必要になります。これらのパッケージは Exceptions フォルダーにコピーされ、個別にクライアントコンピューターにインストールできます。

ただし、クライアントコンピューターで Mac OS X 10.7 を実行している場合、クライアントコンピューターにユーザーがログインしていない状態では、Exceptions フォルダー内のペイロードを SSH でインストールできません。

Mac OS X 10.8 を実行するクライアントコンピューターでは、クライアントコンピューターにユーザーがログインしていない状態では、AIR ベースのペイロードを ARD または SSH でインストールできません。

注意： この問題はクライアントコンピューターで MAC OS X 10.7 または Mac OS X 10.8 を実行している場合に発生します。MAC OS 10.7 または Mac OS X 10.8 を実行している管理用コンピューターを使用する場合、Exceptions フォルダーのパッケージのインストールは影響を受けません。

回避策： MAC OS 10.7 X または Mac OS X 10.8 を実行するクライアントコンピューターで、Exceptions フォルダーから AIR ベースのパッケージをインストールする場合、Exceptions フォルダーのパッケージをインストールするときにユーザーがクライアントコンピューターにログインしていることを確認します。

問題：（Windows のみ）Adobe Technical Communication Suite 4.0 を含むパッケージを展開する場合、Exceptions フォルダー内にある以下の製品はインストールできない（次に示す唯一の例外あり）。

- Adobe PDF Creation Add On 10 (AdobePDFCreationAddOn10_en_us)。Acrobat X には新しいバージョンが含まれているので、Acrobat X をインストールした場合、このパッケージをインストールする必要はありません。

回避策：該当しません。

問題：初めて Extension Manager を起動すると、認証画面が表示される。

回避策：ありません。

問題：Adobe Dreamweaver Widget Browser をインストールすると、AIR ベースのアプリケーションの起動時に AIR の EULA（エンドユーザー使用許諾契約書）が表示される。

回避策：ありません。

問題：AIR コンポーネントが正常にインストールされた後にそれらのコンポーネントの再インストールを試みると、失敗することがある。

回避策：AIR コンポーネントが正常にインストールされた後は、それらのコンポーネントを再インストールしないでください。

問題：（Mac OS のみ）Apple Remote Desktop 3.5 または 3.6 経由でのパッケージの展開が、次のすべての条件に該当する場合に失敗する。

- パッケージ名にローカライズされた文字が含まれている。
- パッケージが「Run this task from the Task Server on this computer」モードで展開されている。

問題：（Mac OS のみ）以前に Acrobat 10 をインストールし（アップデーターが有効な状態で）実行していたコンピューターでは、Acrobat のアップデーターを AAMEE によって無効にすることができない。

回避策：ありません。

問題：（Mac OS のみ）JAMF Casper Suite のスナップショット方式を使用して Adobe Acrobat 9 または Adobe Acrobat X をインストールすると、パッケージのインストールが失敗する。

回避策：Acrobat X は展開用パッケージとして使用できます。したがって、ポリシー方式またはパッケージ展開用の別の Casper 対応方式で、Acrobat X を展開します。Acrobat 9 については、Acrobat 9 をインストールした後で、CS5 または CS5.5 をインストールする前に、次の手順を実行します。

1. /Library/ColorSync/Profiles にある Profiles および Recommended フォルダのバックアップを作成します。
2. 手順 1 でバックアップを作成した Profiles フォルダーと Recommended フォルダーを削除します。
3. CS6 パッケージをインストールします。正常にインストールが行われると、Profiles フォルダーと Recommended フォルダーのシンボリックリンクが、/Library/ColorSync/Profiles に作成されます。

注意：ケースによっては、CS6 パッケージの展開が失敗することがあります。そのような場合は、手順 1 で作成したバックアップを復元して、Acrobat が正しく機能することを確認してください。

問題：（Mac OS のみ）展開後に Acrobat X のインストールにアップデートが適用されると、Acrobat アップデーターの設定が失われる。

回避策：無効になっている Acrobat X を再度有効にするには、展開ガイドの「Windows での Adobe Acrobat の展開」の章の「アップデート適用後の Mac OS での機能のロック処理」で説明する手順を実行します。

問題：Adobe Application Manager Enterprise Edition パッケージを使用してアンインストールしたときに、ユーザー環境設定がターゲットコンピューターから削除されない（Windows / Mac OS）。

回避策：ユーザー環境設定を手動で削除してください。

問題：Exceptions フォルダー内にある製品が、Adobe Application Manager Enterprise Edition で作成された展開パッケージを使用せずにインストールされている場合、それらの製品にはアンインストールコマンドを利用できない（Windows）。

回避策：それらのプログラムは、「プログラムの追加と削除」を使用して削除してください。

問題：（Mac OS のみ）登録とアップデートを無効にしたにもかかわらず、Adobe After Effects および Bridge の登録およびアップデートメニュー項目が有効になる。

回避策：ありません。ただし、これらのアプリケーションからアップデートを起動したときに、アップデートが無効になっていることが通知されます。つまり、アップデートメニュー項目が無効になっていなくても、アップデート機能は無効になっています。

問題：パッケージを作成するときに、パッケージを別のオペレーティングシステムのネットワークの場所に保存しようとする、パッケージ処理が失敗する。例えば、Windows マシンを使用して作成されたパッケージは、Mac OS のネットワークの場所に保存することはできません。また、この逆も同じです。

回避策：パッケージを作成して、共有された場所に保存する場合は、パッケージを作成するために使用されたコンピューター上にあるのと同じオペレーティングシステムのネットワークの場所に保存します。

問題：（Mac OS のみ）Mac OS X 10.7 Lion で、Creative Suite 6 パッケージに含めて展開した Acrobat X Pro をアンインストールしようとする、正しくアンインストールできない場合がある。

回避策：ありません。

問題：Mac OS で、パッケージの作成時に展開ターゲットとしてブートボリュームのルートディレクトリを指定した場合、インストーラーによってデフォルトの場所に展開される。Windows で、パッケージの構築時に展開先としてフォルダー名のないディスクを指定した場合、インストールが失敗する。エラーの説明がインストーラーログに書き込まれる（Mac OS / Windows）。

回避策：パッケージを展開する場所としてルートフォルダーを指定しないでください。

問題：パッケージの展開中に Adobe Application Manager Enterprise Edition が実行されていると、「Some non-deployment workflow is running. Close it before continuing.」というエラーメッセージが表示される（Windows / Mac OS）。

回避策：Adobe Application Manager Enterprise Edition を終了してから、パッケージをターゲットシステムに展開してください。

問題：Mac OS で ARD 経由で展開すると、ARD タスク中にユーザーがログイン、ログアウトまたはユーザーの切り替えを行った場合に展開が失敗する（Mac OS）。

回避策：少し待ってから、再度展開してください。

問題：Adobe Technical Communication Suite 4.0 のパッケージは、パス名にローカライズされた文字が含まれている場所に展開できない。

回避策：Adobe Technical Communication Suite 4.0 を展開するために使用するパスの名前にローカライズされた文字が含まれていないことを確認してください。

© 2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

This guide is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the guide; and (2) any reuse or distribution of the guide contains a notice that use of the guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe Audition, Adobe Bridge, Adobe Device Central, Adobe OnLocation, Adobe Premiere, Adobe Premiere Pro, Adobe Technical Communication Suite, After Effects, Contribute, Captivate, Creative Suite, CS Live, Dreamweaver, Encore, Fireworks, Flash, Flash Builder, Flash Catalyst, FrameMaker, Illustrator, InDesign, Photoshop, RoboHelp, SiteCatalyst, and Soundbooth are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Apple, Mac, and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the United States and other countries. Microsoft, Windows, and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. UNIX is a registered trademark of The Open Group in the US and other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.